

「2R」啓発 イベント参加報告

整理番号:20180218

イベント名	第39回 アクト通りふれあいデイ
-------	------------------

実施内容	
活動日時	平成30年2月18日(日) 8:00~12:30
活動場所	アクト通りロータリー南側
活動者	村河、藤田、高根
詳細	①貸出リユース食器利用＝無料甘酒配布 ②スッキリエコ自慢冊子 配布 ③移動「もったいない市」開催 ④生ごみ減量＝水切りお試しグッズ「そのまんまポイッ」＝無料配布、生ごみ干しネット紹介 ⑤楽器のリユース事業 ※鍵盤ハーモニカとソプラノリコーダーを募集

事業の様子と成果	<p>来場者数:128名、もったいない市 リユース量 3.45kg スッキリエコ自慢冊子配布 62名、楽器支援チラシ 3名、生ごみそのまんまポイ 47名 貸出リユース食器 お湯呑み 210個持参 ⇒ 甘酒使用 164個 破損等は、ありませんでした。 浜松市「ごみ処理施設非常事態宣言」:ニュースや自治会回覧板より周知されていた。(半数) 干しネットの利用について:女性2名より「生ごみ(お茶殻)などは電子レンジで乾燥させてからごみに出している。」今後は、未使用の野菜干しネットを有効利用していただくよう説明した。</p> <p>リユース食器利用に関する感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしを受けたようでうれしい。 ・紙コップより温かみがある。 ・よりおいしく感じた。 ・丁度よい分量です。 ・温かく飲むことが出来ました。 ・ごみ減量になると思う。 <p>スッキリ エコ自慢冊子配布に関する感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に密着した内容で分かりやすい。 ・同居の家族と話すきっかけになる。 ・ごみ処理非常事態宣言が出ている中、行動の参考になる。 ・ごみ減量の行動は「貧乏」「ケチ」といったイメージが強く、あまり人と話すことがない。会話の参考になる。 ・分かりやすい。 ・生活のごみの分別が分かった。 ・カラフルで楽しい。 ・実際にやっている行動です。 ・静岡新聞を見ました。 <p>年間を通じ、ごみ減量を啓発を行うために参加していたイベント会場で参加者も含めてごみ減量について考える場づくりが出来たことを実感しました。</p>
----------	--

記録添付

